

I 平成27年度（福）新潟県視覚障害者福祉協会事業実施報告書 【協会本部】

1 地域生活支援事業（新潟県受託事業）の実施

- (1) 音声訳奉仕員等養成事業の実施（【点字図書館】12参照）
- (2) 点訳奉仕員等養成事業の実施（【点字図書館】12参照）
- (3) 視覚障害者生活訓練事業の実施
 - ① 見えない・見えにくい方セミナー（新潟）
2月14日（日） 新潟亀田駅前地域交流センター、14名
 - ② 視覚障害者の移動支援の在り方を考える勉強会（新潟）：
2月28日（日） 新潟亀田駅前地域交流センター、89名
 - ③ 見えない・見えにくい方セミナー（長岡）
3月5日（土） まちなかキャンパスながおか、34名
- (4) 中途失明者緊急生活訓練事業の実施
 - ① 歩行訓練：39回、5市町村、実人員9名
 - ② パソコン訓練：72回、8市町村、実人員21名
 - ③ 生活相談：101回、17市町村、実人員63名
 - ④ 日常生活動作（ADL）訓練：21回、8市町村、実人員10名
 - ⑤ 点字訓練：15回、1市町村、実人員4名

2 点字即時・音声による新聞情報システム事業の実施

音声による新聞情報提供システム事業の実施

点字JBニュースのメール配信、印刷・発送等事業に取り組みました。

3 点字にいがた事業、ボイスにいがた、ボイスにいがた・CD版事業の実施

年4回（5月、8月、11月、2月）、作成して発行しました。

4 行政広報誌など点字版等製作受託事業の実施

(1) 新潟市からの広報受託事業

- | | |
|--------------|----------|
| ① にいがた市議会だより | ② 市報にいがた |
| ③ 中央区だより | ④ 西区だより |
| ⑤ 東区だより | ⑥ 江南区だより |

(2) その他事業

- | | |
|--|--------------|
| ①新潟市の介護保険 | ②県民福祉大会資料 |
| ③新潟市議会補欠選挙広報 | ④サイチョプレス |
| ⑤新潟市障がい者計画・障がい福祉計画 | |
| ⑥東区社協だより | ⑦新潟市職員採用試験案内 |
| ⑧阿賀野市バス時刻表 | ⑨県障害福祉課資料 |
| ⑩新潟市「障がいのある人もない人も共に生きるまちづくり条例」
チラシ・パンフレット | |

⑪五泉市公共交通時刻表 ⑫県「くらしの豆知識」デジ版

5 同行援護従業者養成研修事業の実施

平成27年9月2日から10日、新潟ふれ愛プラザ、受講者16名

6 地域活動支援センター「日だまり」事業の実施

毎週月曜日から金曜日 午前9時00分から午後4時

利用登録者 15人

7 麺類販売事業の実施

夏：そうめん、ひやむぎの販売

冬：ちゃんぽん・皿うどん、そば・うどんの販売

8 福祉だよりの発行

年6回（5月、7月、9月、11月、1月、3月）

9 第35回新潟県視覚障害者福祉大会・第65回同文化祭の開催

期日・会場 10月4日（日）・新潟ふれ愛プラザ

参加者 約130名

主な内容

- ・優秀文芸作品表彰
- ・視覚障害者による意見発表・私の主張・ちょっと言わせて
- ・アコーディオン演奏による歌声喫茶
- ・文芸作品選評
- ・日常生活用具及び情報機器の展示等
- ・地域活動支援センター「日だまり」授産品販売

10 購買事業の実施

補装具・日常生活用具、点字用紙など、色々な商品の販売や斡旋を行いました。

【点字図書館】

1 利用登録者数

平成27年3月末日 937人（県内909人、県外28人）

（参考）

前年度末登録者数 928人

平成27年度中異動 新規登録44、登録抹消35（うち死亡16、高齢（平均年齢79歳）理由による辞退15、転出・住所不明等4）

2 図書等製作実績（単位：タイトル／かっこ内は前年比）

合計352（+15）

（1）点字図書 116

（2）録音デジ版図書 120

(3) テキストデイジー図書 39

(4) 録音デイジー雑誌 77

3 図書等貸出し実績（単位：タイトル/かっこ内は前年比）

合計 47,577 (-1,199)

(1) 点字図書 1,246

(2) 点字絵本 45

(3) 点字データFD 1

(4) 録音（デイジー）図書 25,041

(5) テキスト（マルチメディア含む）デイジー図書 32

(6) 録音（カセットテープ）図書 601

(7) 点字雑誌 81

(8) 録音（デイジー）雑誌 19,768

(9) 録音（カセットテープ）雑誌 50

(10) 一般CD図書（落語、音楽） 711

(11) 映画音声解説CD 1

(12) 拡大文字図書 0

4 デイジー図書コンテンツ貸出しサービス（個人のダウンロードは含まず）
（単位：タイトル/かっこ内は前年比）

合計 939 (+271)

(1) デイジーオンラインサービス（リンクポケット対応） 9

(2) CD-R 提供サービス 628

(3) SD カード提供サービス 302

5 サピエ利用登録者によるコンテンツダウンロード利用数

（単位：タイトル/かっこ内は前年比）

合計 22,741 (-41,709)

(1) 点字データ（PC から利用） 4,591

(2) 録音（デイジー）データ（PC から利用） 8,005

(3) 録音（デイジー）データ（携帯電話から利用） 327

(4) 録音（デイジー）データ（リンクポケットから利用） 8,476

(5) テキストデイジーデータ（PC から利用） 770

(6) テキストデイジーデータ（リンクポケットから利用） 540

(7) マルチメディアデイジーデータ（PC から利用） 14

(8) マルチメディアデイジーデータ（リンクポケットから利用） 18

6 点字図書館だより（メールにいがた）の発行

偶数月発行 年間総発行部数 7,000 部

1号あたりの発行部数（概数）点字：150、墨字：460、CD：280、E

メール 185

7 プライベートサービスの実施（対応完了件数）（単位：件）

- (1) 点字資料作成サービス 101
- (2) 録音資料作成サービス 66
- (3) テキスト資料作成サービス 5
- (4) 対面朗読サービス 47
- (5) 代筆サービス 15
- (6) 来館支援 2

8 点字図書館周知及び利用者拡大対策等事業

(1) 移動点字図書館（佐渡会場）

期日：11月8日（日）～9日（月）

会場：アミューズメント佐渡（佐渡市）

来場者：45人

新規登録者：2人

(2) 視覚障害者団体行事への職員参加

① 県視障協事業「新発田市地域意見交流会」

期日：7月17日（金）

会場：新発田市ボランティアセンター（新発田市本町）

参加者：17人（行政担当者2、視覚障害者15）

② 県視障協事業「阿賀野市地域意見交流会」

期日：8月3日（月）

会場：コミュニティセンター城ノ内（阿賀野市保田）

参加者：7人（行政担当者3、視覚障害者4）

③ 県中途視覚障害者連絡会事業「情報交換会」

期日：9月27日（日）

会場：新潟市総合福祉会館（新潟市中央区八千代）

参加者：30人

④ 新潟県眼科医会主催「ロービジョン相談会」

期日：9月27日（日）

会場：村上市岩船郡医師会館（村上市若葉町）

ブース来場者：31人

⑤ 新潟県網膜色素変性症の会なごみの会事業「情報交換会」

期日：11月21日（土）

会場：新潟市総合福祉会館（新潟市中央区八千代）

参加者：18人

(3) ふれ愛まつり等への参加（開催協力）

①ふれ愛さくらまつり

日程：4月26日（日）

会場：新潟ふれ愛プラザ（新潟市江南区亀田向陽）

②県障害者芸術文化祭

日程：11月8日～15日

会場：新潟ふれ愛プラザ（新潟市江南区亀田向陽）

(4) 音声解説付き映画体験会

①上映作品『幸福の黄色いハンカチ』

期日：4月29日

会場：新潟ふれ愛プラザ（新潟市江南区亀田向陽）

来場者：8人

②上映作品『南極料理人』

期日：4月29日

会場：新潟ふれ愛プラザ（新潟市江南区亀田向陽）

来場者：8人

9 情報機器貸出事業

述べ貸出台数 70 台（長期貸出 48、短期貸出 22） - 所有台数 67 台

10 その他情報提供事業

メールリングリストでの情報メールの発信（登録 183 人） 年間 73 通

11 点訳・音声訳登録ボランティアの養成等（開催回数又は日数、受講者数等）

(1) 点訳登録ボランティア研修会

合計 3 回（2 会場）、121 人

(2) 音訳登録ボランティア研修会

合計 2 回（1 会場）、78 人

(3) テキストデイジー奉仕員養成講座

合計 3 回、10 人

(4) テキストデイジー奉仕員研修会

合計 1 回、10 人

(5) 対面朗読協力者研修会

合計 1 回、21 人

(6) 登録証交付ボランティア研修会

合計 1 回、点訳 17 人／音声訳 2 人／テキストデイジー 12 人

12 新潟県地域生活支援事業（新潟県受託事業）に係る初級・中級の点訳・音声訳ボランティア養成講座（開催回数又は日数、受講者数等）

(1) 点訳中級講座 PC 講座（新潟）

合計 2 回、12 人

- (2) 点訳中級講座（新潟）
合計 5 回、12 人
- (3) 点訳校正員講座（上越）
合計 4 回、3 人
- (4) 点訳校正員講座（新潟）
合計 4 回、16 人
- (5) 点訳校正員試験（新潟）
合計 1 回、受験者 16 人（合格者 16 人）
- (6) 音声訳初級講座（燕）
合計 10 回、20 人（修了者 16 人）
- (7) 音声訳中級講座（糸魚川）
合計 6 回、15 人（修了者 15 人）

13 「点訳・音声訳の会新潟県連合会」との連携による講習等

（開催回数又は日数、受講者数等）

- (1) 点訳部会マンガ点訳検討会開催支援
合計 4 回、63 人
- (2) 音訳部会地区別研修会開催支援
合計 14 回（14 会場）、161 人
- (3) 東北・新潟・北海道ブロック音訳研修会参加支援（青森市）
全 2 日、5 団体 11 人

14 見学・視察等来館者（種別、学校・団体数、来館者数）

- (1) 小学校：8 校、536 人
- (2) 中学校：7 校、129 人
- (3) 高等学校：6 校、66 人
- (4) 専門学校：1 校、18 人
- (5) 大学：4 校、190 人
- (6) 一般、その他機関：364 人
- (7) 体験学習、実習受入れ：534 人

15 その他の事業

- (1) 全国視覚障害者情報提供施設大会の主幹
期日：10 月 8 日～9 日
会場：ANA クラウンプラザホテル新潟（新潟市中央区万代）
参加者：174 人
- (2) デジタル録音図書再生機普及のための操作説明
対応件数 27 件（対応総時間約 12 時間）
- (3) 県内公立図書館との連携

- ・県立図書館共催「公共図書館職員専門研修会（障害者サービス研修）」の実施。
- ・デジター編集技術等の図書製作に関する相談受付。
- ・公共図書館における対面朗読等の相談受付。

Ⅱ 事業以外の活動報告

1 理事会、評議員会、監査会及び事業委員会の実施

(1) 理事会の開催

【第1回】

期日・会場 5月24日（日）・新潟ふれ愛プラザ

主な審議事項 平成26年度事業実施報告及び収支決算に関する件

【第2回】

期日・会場 12月13日（日）・新潟市総合福祉会館

主な審議事項 平成27年度収支補正予算（案）に関する件

【第3回】

期日・会場 3月13日（日）・新潟ふれ愛プラザ

主な審議事項 ①平成28年度事業計画及び資金収支計算書（予算）（案）に関する件

(2) 評議員会の開催

【第1回】

期日・会場 5月24日（日）・新潟ふれ愛プラザ

主な審議事項 平成26年度事業実施報告及び収支決算に関する件

【第2回】

期日・会場 3月13日（日）・新潟ふれ愛プラザ

主な審議事項 ①平成28年度事業計画及び資金収支計算書（予算）（案）に関する件

(3) 監査会の開催

期日・会場 5月15日（金）・新潟ふれ愛プラザ

監査事項 平成26年度事業実施状況及び収支決算について

(4) 事業委員会の開催

① 公益・会員事業等委員会 6回開催

期日 5月10日（日）、6月20日（土）、8月23日（日）、
9月27日（日）、11月8日（日）、2月28日（日）

主な議題 福祉大会・文化祭について

② 生活訓練事業委員会 2回開催

期日 6月7日（日）、2月3日（水）

主な議題 平成 26 年度生活訓練実施報告及び平成 27 年度の生活訓練事業実施計画について
生活訓練指導員の複数配置に向けた具体的な方策等について

- ③ 組織・財政検討委員会 3回開催
期日 5月13日(水)、7月29日(水)、2月9日(火)
主な議題 平成27年度組織及び財政基盤強化について
チャリティ映画会の実施について

2 各種会議、研修会の開催

(1) 会員集会の開催

7月12日(日)

長岡シティーホールプラザ「アオーレ長岡」 32名出席

◇内 容

【会務報告】

- ① 平成 26 年度収支決算報告
- ② 平成 27 年度事業実施計画及び収支予算について
- ③ 新潟県視覚障害者福祉協会及び日盲連を巡る状況について

【意見交換項目】

- ① 生活訓練事業について
- ② 同行援護事業について
- ③ 高齢化問題について

(2) 市町村との意見交換会

① 新発田市

日時：7月17日(金)

場所：新発田市ボランティアセンター(新発田市)

参加者：新発田市、視覚障害者、県視障協、点字図書館

② 阿賀野市

日時：8月3日(月)

場所：コミュニティセンター城ノ内(阿賀野市)

参加者：阿賀野市、視覚障害者、阿賀野市社協、県視障協、点字図書館

③ 佐渡市

日時：11月9日(月)

場所：アミューズメント佐渡(佐渡市)

参加者：佐渡市、視覚障害者、佐渡市社協、ボランティア、県視障協、点字図書館

(3) 地区会長会議の開催

6月7日(日)、11月8日(日)新潟市

・各地区会長から、それぞれの地区の現状や課題について意見交換を行った。

(4) 理事研修会の開催

期日・会場 8月23日(日)・新潟市地域活動支援センター「日だまり」

内容 「視覚障害者に係る障害者差別解消法について」

講師 弁護士 上野 祐 氏

(5) 理事連絡会議の開催

① 第1回

期日・会場 4月4日(日)・新潟市総合福祉会館

内容 協会の現状と課題について、平成27年度事業計画について、事業委員会委員の選任について

② 第2回

期日・会場 12月13日(日)・新潟市総合福祉会館

内容 事業委員会の現状・課題及び今後の活動について、平成28年度会員集会、地区会長会議、市町村との意見交換会、同行援護従業者養成研修及び福祉だよりについて

(6) 監事連絡会議

期日・会場 4月7日(火)・新潟市総合福祉会館

主な内容 平成26年度事業実施状況及び収支決算(案)について
経理規程について

(7) 新視連会議の開催

期日・会場 7月5日(日)・新潟市総合福祉会館

主な内容 平成27年度の県及びJR東日本新潟支社等への要望項目
について

(8) 専門部会議の開催

① 女性部会の開催 4月26日(日)・新潟市総合福祉会館

② 女性部地区代表者会議の開催 11月3日(火)・新潟市総合福祉会館

③ 女性部研修会の開催 6月28日(日)・上越市

3 日盲連等関係会議、研修会及びスポーツ大会の参加

(1) 第68回全国盲人福祉大会への参加

5月29日(金)～31日(日) 岐阜県、3名参加

(2) 第61回全国盲女性研修大会への参加

9月1日(火)～2日(水) 宮城県、2名参加

(3) 日盲連女性協議会全国委員会並びに代表者会議

- 3月14日(木)～15日(金) 東京都、2名参加
- (4) 日盲連評議員研修会への参加
3月31日(木)～4月1日(金) 東京都、2名参加
- (5) 日盲連北信越ブロック会長連絡会議への参加
8月26日(水)～27日(水) 石川県、2名参加
- (6) 日盲連北信越ブロック代表者会議・青年部協議会・女性部協議会・女性部研修会への参加
11月28日(土)～29日(日) 福井県、理事長他理事等参加
- (7) 第42回北信越グランドソフトボール大会兼第15回全国障害者スポーツ大会グランドソフトボール競技地区予選への参加
5月16日(土)～17日(日) 福井県、1チーム参加
- (8) 第24回北信越サウンドテーブルテニス大会(新潟大会)への参加
10月31日(土)～11月1日(日) 新潟県新発田市月岡温泉
月岡ニューホテル冠月、10名参加

4 平成27年度(福)新潟県視覚障害者福祉協会の運動方針に対する活動報告

(1) 障害者差別解消に向けた行政に対する積極的な働きかけ

新潟市の「障がいのある人もない人も共に生きるまちづくり条例」策定に当たり、各種協議会や検討委員会等に積極的に参加し、「不当な差別的取扱い」と「合理的配慮をしないこと」の差別解消に向けて働きかけを行ってきた。

一方で、新潟県や新潟県議会に対して、「障害者差別解消の県条例」を作成するよう要望活動を行った。

(2) 福祉サービスの自治体間格差をなくす運動

平成27年度から実施した、「市町村との意見交換会」を新発田市、阿賀野市及び佐渡市で開催し、当該市行政職員から参加してもらい、市町村における視覚障害者に係る福祉サービスについて、話し合いを行い、自治体格差をなくすよう行政に要望を行ってきた。

(3) 災害時の福祉避難所における情報伝達方法等の要望活動

災害発生時に視覚障害者が安全かつ安心して避難生活を送れるよう、新潟県に対して、次の要望を行った。

- ① 視覚障害者の特性に配慮した新潟県防災計画を作成してください。
- ② 市町村の防災計画にも前述の趣旨が盛り込まれるよう、県から市町村を指導してください。
- ③ 避難所への盲導犬の同伴ができるよう、県内同一の方法で県から市町

村を指導してください。

なお、盲導犬同伴を伴う避難に制約があるときは、その避難所ごとに盲導犬ユーザーに周知してください。併せて、同伴可能の避難所の指定があれば、その避難所マップを作成し、盲導犬ユーザーに配布してください。

(4) 視覚障害者の就労の場の拡大

2月と3月に当協会主催で、新潟市と長岡市で、中途視覚障害者の就労支援を行うNPO法人タートルの会から講師を招き「見えない・見えにくい方セミナー」を開催し、就労支援の講演会や個別相談等を行った。

(5) 視覚障害者リハビリテーション充実のための他団体との連携

年間を通して当協会生活訓練指導員が県内の視覚障害者に生活相談や生活訓練を実施し、さらに家族や支援者及び行政職員に対して正しく視覚障害を理解してもらうための周知を行った。

一方、新潟県視覚障害者リハビリテーションネットワーク（通称：ささだんごネット）連絡協議会が5月及び11月に開催され、その構成施設・団体との連携について意見交換を行うとともに、今後も、その他の関係機関・団体とも緊密な連携の下で、視覚障害者個々のニーズに沿ったきめ細やかなリハビリテーションを行っていくことを確認した。

(6) 生活訓練指導員の複数配置の要望

新潟県視覚障害者福祉協会に生活訓練指導員が1名配置され、県内全域の視覚障害者に対し生活訓練を行っているが、新潟県は県域が広く業務に支障を来していることから、生活訓練指導員の複数配置について、生活訓練事業委員会において、検討を行った。

(7) 環境の整備

点字ブロックおよびエスコートゾーンの敷設にあたり、視覚障害者に配慮した安全で利用しやすい環境づくりに向けて新潟市と意見交換を行った。

一方、視覚障害者の社会参加を容易にするとともに安全確保のためには、施設や道路、更にはJRのバリアフリー化が急がれることから、県域の視覚障害者団体と連携し、新潟県、JR東日本新潟支社や関連する会社等に対しバリアフリー化の推進を要望し、要望に関する意見交換を行った。新潟県から「バリアフリーまちづくり事業」において、「県の管理道路の誘導・警告ブロックの敷設について、具体的な要望箇所を市町村の福祉担当部署や県の健康福祉環境部へ要望すれば検討する。」と前向きな発言があった。

- 5 ふれあいいいきサロンの実施
毎月第1・3木曜日 午後1時30分から
新潟ふれ愛プラザ
- 6 賛助会員への入会促進
既会員に対し、引き続き賛助会員のお願いをし、新たな賛助会員を募った。
- 7 本会及び地域生活支援事業のパンフレットの送付
市町村、市町村社協、福祉サービス事業所、関係機関・団体に送付
- 8 同行援護事業推進のための取組み
視覚障害者及び同行援護事業所からの同行援護制度の相談やガイド方法等の問合せの対応を行いました。
- 9 点字・録音出版事業への積極的な取組み
市町村の発行文書について、必要とする方に点字・音声版を作成し届けるよう行政に働きかけました。
- 10 高齢者問題の検討
高齢者問題として、65歳問題と介護保険制度及び障害者相談支援法の各支援員等の教育の問題があるが、新視連を通じて下記の要望を県に行った。
(1) 65歳を過ぎると介護保険法による居宅介護が優先されるが、障害状況が一定していれば、65歳以降であっても障害者総合支援法による「障害福祉サービス」が受けられるよう配慮して下さい。なお、見直しに当たっては、障害者総合支援法第7条の規定を撤廃してください。
(2) 介護保険制度の介護支援専門員（ケアマネージャー）や障害者総合支援法の相談支援専門員、居宅支援のホームヘルパー等への「視覚障害者への支援」に対する教育の充実を行って下さい。
- 11 関係機関・団体及び各種学校など主催の福祉学習への支援
県内市町村社会福祉協議会、小学校、中学校、高校、大学及びボランティアグループなど主催のイベント・福祉学習等の講師として役員、職員が支援・協力しました。
- 12 関係機関・団体との連携強化
新潟県視覚障害リハビリテーションネットワーク（通称：ささだんごネット）の構成団体と連携して、個々のニーズに沿った視覚障害リハビリテーションを実施しました。
- 13 その他、調査の実施や必要な事業への取組み
(1) 新潟県議会をはじめ、県内市町村議会に対し、白杖の持ち込みや盲導犬の同行に関するアンケート調査を行った。
(2) 県内の市町村に対し、「移動支援・同行援護に関するアンケート調査」を行った。

(3) 昨年 10 月の視覚障害者の交通事故死を踏まえ、新潟県、新潟市及び新潟県警に対し、「視覚障害者の交通事故再発防止のための安全対策に関する要望書」を提出した。

これを受け、新潟県と新潟市では、国の関係大臣あてに「自動車人が人を傷つけることなく障害者等が安心して社会参加できる社会の実現を求める要望書」を提出した結果、国土交通省は、2018 年から、走行音が静かなハイブリッド車(HV)などの接近を歩行者に音で知らせる「車両接近通報装置」の搭載を自動車メーカーに義務付ける方針を固めた。